

## 審議会等の議事の要旨（要点）

会議名称	令和元年度第1回立川市交通結節推進協議会
開催日時	令和元年11月8日（金）午前10時～午前12時
開催場所	立川市子ども未来センター 多目的室
次第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 議 事</p> <p>（1）協議会のスケジュールについて</p> <p>（2）令和元年度予算案について</p> <p>（3）サイン整備の進捗状況報告</p> <p>（4）路面サインのデザインについて</p> <p>（5）バス案内表示について</p> <p>（6）地図サインの表示イメージについて</p> <p>（7）配布用マップについて</p> <p>3. その他</p> <p>4. 閉 会</p>
配布資料	<p>資料1：立川市交通結節推進協議会の当面のスケジュール</p> <p>資料2：令和元年度立川市交通結節推進協議会予算（案）</p> <p>資料3：立川ターミナルサイン計画／サインレイアウト</p> <p>資料4-1：立川ターミナルサイン計画／路面サイン設置イメージ（案）</p> <p>資料4-2：令和元年度立川ターミナル実地踏査（案）について</p> <p>資料5：バス案内表示／レイアウトイメージ（案）</p> <p>資料6：配布用マップ（案）</p>
出席者	<p>[委員]</p> <p>小早川悟会長、稲垣具志副会長</p> <p>小倉秀夫委員、島田尚利委員（代理）、新井淳一委員、早田俊介委員、依田修委員、藤原廣彦委員、中田龍哉委員、蛭間浩之委員、伊藤正人委員、村本慎治委員、山本繁樹委員、大石幸治委員、菊池英一委員、川口哲生委員</p> <p>[事務局]</p> <p>浅見知明（交通対策課長）、加藤暁子（交通企画係長）、松崎達矢（交通企画係主任）、伊藤和香子（交通企画係主任）</p>
公開及び非公開	公開
傍聴者数	無し
会議結果	<p>1. 開 会</p> <p>2. 議 事</p> <p>（1）立川市交通結節推進協議会の当面のスケジュールについて事務局より説明を行い、質疑応答を行った。</p> <p>&lt;会長&gt;</p> <p>事務局より今年度の協議会スケジュール（案）の説明があった。</p>

ご意見があればお願いしたい。

<全委員>

特になし。

<会長>

特に意見が無いようなので、今年度の協議会は提案のスケジュールで進めていきたい。

(2) 令和元年度立川市交通結節推進協議会予算（案）について事務局より説明を行い、質疑応答を行った。

<会長>

事務局より予算（案）の説明があった。ご意見があればお願いしたい。

<全委員>

特になし。

<会長>

特に意見等は無いようなので、予算（案）については、本協議会として了承したい。

(3) 立川ターミナルサイン計画／サインレイアウトについて事務局より説明を行い、質疑応答を行った。

<会長>

事務局より、整備予定のサインレイアウトについて説明があった。ご意見があればお願いしたい。

<全委員>

特になし。

<会長>

特に意見等は無いようなので、サインレイアウトについては、資料の内容で今年度の実施整備を進めるということで、本協議会として了承したい。

(4) 立川ターミナルサイン計画／路面サイン設置イメージ（案）及び令和元年度立川ターミナル実地踏査（案）について事務局より説明を行い、質疑応答を行った。

<会長>

昨年度は壁面等のサインの実証実験を行い、今年度は路面サインに実証実験を行うようである。ご意見があればお願いしたい。このような形での路面サインの設置は、他の都市で事例としてあるのか。

<副会長>

設置事例として駅構内では多いようである。例えば、JR西日本

の駅構内では、路面サインを誘導用ブロックの脇に設置してトイレや改札などの案内を行っているが、何番線などという案内まではしていない。今回のようなバスを含めた複数の交通事業者からなる結節点で、案内を補完するための路面サインという事例は、あまり多くない。また、ロービジョンなどを含めた障害者に配慮した検討形態はめずらしい。

実地踏査の確認事項が2点あるが、まず方向を一括で表示する方法と分割する方法については、個人的には分割が望ましいと考える。当事者の意見も踏まえて判断した方が良いと思う。ただ、現状の確認方法は一方向からの視点での確認になっており、別の方向から来た人は見えにくい状況になるため、一括表示の場合はアプローチ方向に偏った表示方法となってしまう。サインの多様な使われ方の観点で検討するには、ルートを絞った一方向からの視点のみではなく、複数の進行方向に対して確認する必要があるのではないかと。

<事務局>

今回は、起点となるJR立川駅からモノレール及びバス・タクシーのりばまでの案内という視点で整理している。ご指摘のとおり、見る地点については様々であると思うので、実地踏査等で確認していきたい。

<副会長>

オリパラのアクセシブルルートの検討の際に出た問題だが、迷った人に対してどう補完的に案内していくかということもサインの役割としてある。もちろん、全ての人のありとあらゆるケースを満足させるような対応をすることはできないが、その場所で迷った人の助けとなるような形での配置や設置に配慮していくことが必要になるのではないかと。

<会長>

見る方向についての指摘があったので、その点については、実地踏査までに事務局で検討いただきたい。

<委員>

路面サインについては、シール仕様ということだが、設置後に剥がれるということも想定される。メンテナンス等についても気をつけていただきたい。

<事務局>

立川駅周辺では、歩きタバコ禁止の表示を路面シールで実施している。貼り方や材質等については、その実績等も踏まえ対応していきたい。

<委員>

路面サインの大きさについてだが、少し小さいという印象を持っ

た。誘導ブロックよりもサイズが小さい印象のため、近くまで行き、さらに、立ち止まらなないと判別できないのではないかと思う。

<事務局>

現地の状況を踏まえたサイズで作成している。可能であれば実地踏査で確認してもらうことを検討したい。

<会長>

サイズ感についても、現地で確認できるか実地踏査までに事務局で検討いただきたい。

<委員>

立川駅周辺ではモノレール駅があるという特徴があるが、表示されているピクトグラムは、モノレールだということは認識できるのか。

<事務局>

ピクトグラムは基本ルールで定めており、通常の吊り下げや自立式のサイン表示で使用しているものと同様のものとなっている。その中でモノレールについては、当該エリアに2つの駅があるため、モノレールのピクトグラムをあわせて、駅ナンバリングでそれぞれの駅を分けて表示している。

<副会長>

案内図記号は原則、J I Sで定められているものがあるため準拠することが求められる。モノレールについてはJ I Sにないため、東京モノレール等のものをアレンジしている。実際は、吊り下げサイン等の表示でモノレールであることを認識した上で、利用するということになるだろう。ピクトグラムのみを見て、モノレールと認識ができるかどうかは、実地踏査で確認する必要がある。

<委員>

実地踏査で問題ないということであれば良いが、分かりづらいということがあれば、何らかの形で補足することを考えた方が良い。

<会長>

モノレールのピクトグラムの認識に関する確認項目について、実地踏査までに事務局で検討いただきたい。

(5) バス案内表示／レイアウトイメージ（案）について事務局より説明を行い、質疑応答を行った。

<会長>

バス案内に関する表示方法については、バス事業者との調整になると思うが、掲出場所により生じる空きスペース等についてご意見があればお願いしたい。

<委員>

空きスペースの表示案として、各バス事業者の注意喚起のイメージ図があるが、広告と捉えられる可能性がある。注意喚起などの表示で、バス協会等で統一したものはあるのか。

<委員>

今回は、空きスペースの表示イメージとしての情報提供を行っている。そのため、この内容がそのまま表示されるとは考えていない。ただ、バス事業者としては乗降時の注意喚起とあわせて立川駅の場合は北口、南口でバスの乗り方が前乗り、後乗りなど分かれており、啓発は共通で抱えている問題でもあるため、そういったことをお知らせできればと考えている。

<会長>

空きスペースについては広告表示ができないということであると、事務局がデザインするということになるのか。

<事務局>

空きスペースに注意喚起等の表示で良いということであれば、デザインや作成等については、バス事業者と調整していきたいと考えている。

<委員>

基本的に多くの方は自分が利用するバスの系統以外は知らないというのが現状であると思う。利用者がどのような状態で立川駅に来訪するかにもよるが、QRコードなども活用して各社のバスロケーションシステムに連動すると良いのではないか。

<委員>

立川バスでは、現在、QRコードを用いて案内しているが、系統・路線ごとではなく、バスロケのシステム入口への案内となっている。各路線等への直接アクセスとするにはシステムの改修が必要になる。

<委員>

西武バスにおいても、系統・路線ごとではなく、バスロケのシステム入口への案内となっている。各路線等への直接アクセスとするにはシステムの改修が必要になる。

<委員>

来街者は途中の停留所を利用することも想定される。そうなりと路線図にアクセスできるようにする必要もあるのではないか。

<委員>

広域に路線が広がっているので、携帯端末の画面では見にくいだろう。

<委員>

立川ターミナルにおいて「MaaS」の実証実験を予定されている。

リアルタイムの運行データを用いた経路案内等の情報を提供するサービスで、こういったサービスのQRコードを表示するというのもできるのでは。

<会長>

今後の対応のイメージはどうなるのか。

<事務局>

バス案内については、今年度の設置分に該当するため、バス事業者と調整の上、11月中を目処に整理していきたいと考えている。また、空きスペースの活用については、年内を目途としたい。

<委員>

各のりばに対して、系統や路線が全て表示されていることは良いと思うが、「このりばや系統は〇〇方面」などの表示がされていると、初めて来た人にも分かり易くなるのではないか。

<会長>

バスのりば案内は、方面表示で何番のりばという表示は出るのか。

<事務局>

〇〇方面は何番のりばという表示は予定していない。バス案内はターミナルマップと並べて表示するため、系統をみて各のりばに辿り着けることをイメージしている。表示内容については、のりば、系統・行先・経由地、デッキ出入口番号という表記を原則としており、ご指摘のあった〇〇方面を各のりばごとに表示すると、北口についてはさらに文字が小さくなり、視認性の面で問題が出てくると考えている。先ほど提案にあったQRコードで対応するという事は可能かもしれない。

<副会長>

案内を考える上で、ユーザーがどういう情報を持った状態で見るといふことを考える必要があると思う。何の情報も持たない人の場合は困難だが、のりばや系統を知った上で見た場合は利用しやすいと思う。例えば、施設のHPでのアクセス案内のページに、現場のバス案内マップとリンクさせた形で、「北口2番」「〇〇系統」といった情報を提供すると利用しやすくなるだろう。表示する情報とともに、それをどのように利用するとより利用しやすくなるのか、ということもあわせて考えるとともに、その利用方法を地域で展開する施設管理者や事業者へ発信していくことも必要である。一方で電車などの遅延により、予定したバス等に乗れなかった場合に別のバスでも対応できる等の情報も同時に提供できると利用者にとっては利用しやすくなるのではないか。

<委員>

バス案内は情報量が多いということだが、英語表記などの多言語

への対応の必要性はないのか。

<副会長>

多言語表示により外国人が利用しやすくなるのは確かである。ただし、多言語化により、ユーザビリティが極端に下がってしまうこともある。その点は、バランスを見ながら対応していくことが必要となる。

<会長>

バスのりば案内については、資料の表示方法をベースに、可能であればQRコードの表示とともに、それらで補えない部分については利用方法の発信を含めて対応していくことしたい。

<事務局>

バス案内については、情報を更新しやすいガラスケース式で対応できる場所もあるので、必要に応じて随時対応していくことも検討したい。

(6) 地図サインの表示イメージについては原寸の地図をもとに、事務局より説明を行い、質疑応答を行った。

<会長>

原寸の地図が用意されているので、時間をとって直接見てもらった上で、意見をいただきたい。

<事務局>

地図を見ながらいただいた意見を紹介する。

「ATMのような変更が多い施設も記載するか」、「スケールの表示は必要」、「縦方向に読む場合の文字表示は、横書きの回転ではなく、縦書きの方が読みやすいのでは」、「高速・空港バスのりばが駅から離れているため、ランドマークとなる施設の名称表示がいないのでは」、「北口バスのりばにも空港行きのバスがあるため、飛行機ピクトが必要では」、「多摩モノレール立川北駅がデッキ階上部にあるため、点線表記にしてあるが、わかりにくい可能性がある」、「広域エリアマップが情報量過多と感ずるため精査が必要」、「公衆トイレについては、障害者の利用有無の表示が必要では」、「デッキ階と地上階が感覚的にわかるような表現とした方がよい」、「現在地の表示は大きい方がよい」、という意見を頂いた。

<委員>

バス案内に、QRコードの議論があったが、Wi-Fiスポットなどを表示する必要もあるのではないかと。

<委員>

立川駅周辺については、デッキ上はfree Wi-Fiで対応している状態である。

<事務局>

free Wi-Fiについては、観光の部署とも協議を進めており、現地での周知も今後は進めていきたいと考えている。

<委員>

銀行のピクトグラムはこの表現で問題ないのか。

<事務局>

案内標準図記号のJIS規格のものを採用している。銀行については、駅周辺の来街者や外国人利用者への情報としてターミナルマップに掲載し、広域的な施設情報を主とした広域エリアマップには掲載しないという整理をしている。

<会長>

今後の対応のイメージはどうなるのか。

<事務局>

本日の意見をあわせて、11月18日までを意見をもらう期間とし、頂いた意見を踏まえて修正を行う。その後については、設置工事の進捗を考慮すると、各委員への確認の時間をとることが難しいため、会長に確認いただきたいと考えている。

<会長>

地図の表示については、会長及び事務局で確認ということで問題ないか。

<全委員>

問題ない。

(7) 配布用マップ（案）について、事務局より説明を行い、質疑応答を行った。

<会長>

主な施設案内という項目があるが、こういった意図で選択しているのか

<事務局>

ターミナルマップの掲載範囲から外れているが、利用者が多いと想定される施設という視点で抽出をしている。

<委員>

北口に新設されるグリーンスプリングスについては、利用者が多い施設になると想定される。一方で地方合同庁舎にはハローワークや法務局などもあるため、その中心の通りである「サンサンロード方面」で留めておけばよいのでは。

<委員>

立飛のアリーナはBリーグも開催されており、利用者が多い。集客という視点では案内すべき施設ではないか。

<委員>

サンサンロードの沿道は、新市街地の目玉として機能誘導を行ってきたため、サンサンロード方面という情報があった方がよい。広域エリアマップについては、多摩モノレール立飛駅のそばにアリーナがあるため、表示しても良いのでは。

<事務局>

配布マップについては、市案内コーナーや鉄道事業者の改札や案内所などでの配布を予定している。その中で、利用者が「この施設への行き方は」ということを想定して、主な施設の抽出をしていきたい。

<副会長>

広域エリアマップについては、地図表示されている部分に若干の余裕があるように感じる。そのスペースを利用して、主な施設案内を掲載するということもできるのでは。その際に、観光や一般利用、行政施設などを分類して表示できるかもしれない。また、その際に主な施設案内の部分が空くので、バスのりば利用時に階段が利用できない方に向けた、バリアフリールートのご案内を表示してはどうか。

<委員>

ある程度網羅できないのであれば、主な施設案内は掲載しないほうが良い。その際は、空いたスペースを活用してバス案内の意見でもあったが、北口1番では〇〇方面などの情報を表示するのも良いのでは。

<会長>

今後の対応のイメージはどうなるのか。

<事務局>

本日の意見をあわせて、11月18日までを意見をもらう期間としたいと考えている。それらの意見を踏まえて修正し、次回の会議で最終案を提示する予定である。ただし、各地図の下図については、現地のサインの地図と連動しているため、対応できないこともあると考えている。

<会長>

再度の確認になるが、各サインで利用する地図については、会長確認とし、配布マップについては、次回の協議会で最終案を提示するという事で問題ないか。

<全委員>

問題ない。

3. その他

<事務局>

	<p>今回提示した資料等について意見等があれば、11月18日（月）までに事務局へ連絡いただきたい。また、次回の開催は令和2年の1月17日（金）を予定している。</p> <p>4. 閉 会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
担当	まちづくり部交通対策課交通企画係 電話 042-523-2111 (2279)